

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	農林水産部 農地農振室、農山漁村・担い手支援課
評価対象期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館	施設種別 農林業振興
	所在地	杵築市山香町大字日指1番地1	
	設置目的	(大分農業文化公園) 豊かな自然と親しみながら農業・農村の文化等に関し学習する機会を提供することにより、農業・農村及び自然環境に対する県民の理解を深めるとともに、新しい農業・農村づくりに資する。 (大分県都市農村交流研修館) 都市と農村との交流の促進を図るとともに、農村女性の能力の開発及びネットワークの形成に資する。	
指定管理者	名称	公益社団法人 大分県農業農村振興公社	
	代表者名	理事長 力徳 昌史	
	所在地	大分市舞鶴町1丁目4番15号	
指定管理業務の内容	①施設等の利用、農業・農村に係る情報の提供、都市と農村との交流の促進、研修に関する業務 ②農業文化公園及び都市農村交流研修館の施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ③農業文化公園及び都市農村交流研修館の利用の受付及び案内に関する業務 ④農業文化公園及び都市農村交流研修館の利用の許可に関する業務 ⑤農業文化公園及び都市農村交流研修館の利用の促進に関する業務 ⑥その他知事が特に必要と認める業務		
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし		
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日(5年間)		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		24
(1) 施設の設置目的の達成			
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。	20	3	12
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。			
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
〈大分農業文化公園〉			
○ 入園者数は、274,556人で22年度に比べて25,593人の減となった。入園が見込めるゴールデンウィーク等の大型連休時に天候不順で入園者数が伸びなかったことが原因と考えられる。しかし、4月、7月、1月、3月は前年度よりも入園者が増加しておりイベント等の自主事業の効果が出来ていると思われる。			
○ 利用者の増加を図る取組みとして、様々な自主事業を実施している。季節のイベント(夏休み子どもパーク、秋穫祭等)を実施し、イベントの定着化を図っている。			
○ 営業については、専任の営業職員を配置し、企業や学校、施設等に積極的に働きかけを行っている。また、年4回のイベント時には、園長が各種団体、マスコミ等を訪問し、積極的にトップセールスを行っている。夏休み時期などの繁忙期には、通期で開園するなどの集客対策も実施している。			
○ ホームページでの更新を頻繁に行っており、さらにブログでは公園の状況を随時更新(イベントのお知らせやコテージ等の予約状況等)しており、利用者の利便性を図ると共に広報に力を入れている。			
〈大分県都市農村交流研修館〉			
○ 利用者数は、27,597人で、前年度に比べて5,396人増となった。			
○ 研修館全体の稼働率は51.5%となり、前年度に比べて0.8ポイント下がった。			
○ 利用者の増加を図る取り組みとしては、農業や農村文化に関する農業文化公園ならではの講座を前年度同様126回開催。関係農業団体と連携した農業技術や人材育成に関する研修会を前年度の14回から31回に増やして開催した。			
○ 施設間の連携については、子ども向けの体験講座の日程を公園のイベント開催日に合わせ、参加率の向上を図っている。			
○ 営業・広報活動については、ホームページ、メディア、フリーペーパー等各種媒体を活用した広報活動に加え、一部講座を「おおいた学びの輪」推進事業連携講座に指定するなど、工夫がされている。また、郵便局、市役所、JA、公民館等にパンフレットを置いて貸館を積極的にアピールし、利用率向上に繋げている。			

(2) 利用者の満足度			
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	3	12
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
<p>〈大分農業文化公園〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入園者を対象にアンケートを実施したところ、62%が「大変満足」、24%が「やや満足」、11%が「普通」、1%が「やや不満」、2%が「不満」という結果であり、97%が普通以上の評価となっている。「大変満足」と「やや満足」の合計も、21年度85%、22年度は88%、23年度86%となっており8割以上となっており、評価できる。ただし、アンケートの集約数が、21年度560件から22年度は255件と減っており、23年度は272件と若干回復したが、今後も引き続きアンケートの徴収方法の再考をしていく。</li> <li>○ 利用者の意見として、身障者への配慮不足(専用トイレ不足、園路が急勾配等)、トイレ不足、日陰の不足等があったが、日陰についてはサービス改善事業によりパラソル4基とベンチ8基をみどりの広場に設置した。トイレについては、身障者用トイレ及び一般トイレの設置場所を園内マップ等により説明することで対応しているが、より徹底して行っていく。園路改善については、遊具付近の園路の側溝に事故対策として蓋を設置した。</li> <li>○ 利用者への情報提供としては、ホームページによる施設の内容、イベントの内容、講座・体験の予約状況等の紹介、各種広報媒体(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)による、主にイベント等の紹介などを積極的に実施している。</li> </ul> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各講座の受講生に対し、随時、アンケート調査を行っており、特に食に関係する講座の人気の高さは、満足度の高さの結果と思われる。</li> <li>○ また、講座受講生の声を反映して、研修館の受講者決定方法を従来の先着順から抽選方式に変更したことで、申込み者の機会が均等になり、苦情が減った。また、講座ごとに5回ずつ通して継続受講できるように変更したことで受講生の学習・理解が深まって喜ばれている。</li> </ul>			
2 効率性の向上等に関する取組み	30		22
(1) 経費の低減等	20	4	16
①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。			
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
【評価の理由】			
<p>〈大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定管理者更新の際に、経費等を見直し22年度よりも委託額が約19.1%減額した。</li> <li>○ 両施設の支出は、200,445千円で、前年度より33,573千円減少した。これは、委託料減額と経費の見直しを行ったことによる。</li> <li>○ 23年度からは、清掃業務については委託せずに直営とし、警備、設備の保守点検等の業務についても、複数年度での委託契約を締結するなど、更なる経費縮減を図っている。</li> </ul>			
(2) 収入の増加	10	3	6
①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
<p>〈大分農業文化公園〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 収入の減少は入園者数が約2.5万人減少したことによると思われる。</li> <li>○ 施設利用料収入・飲食収入・物品販売収入の合計は、22年度は約83,000千円であったが、23年度は約77,000千円で入園者数の減少が大きな原因であった。また、その入園者のうち年少児連れの家族が過半数であるので、イベント等を行う事で入園者の増加を図っている。月単位の入園者数が前年度よりも増加している月は売上げも比例して増加しているため、今後も入園者増加への取り組みを行っていく。</li> </ul> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都市農村研修館の収入の増加の要因は、講座受講生の声を反映して、研修館の受講者決定方法を従来の先着順から抽選方式に変更したことで、申込み者の機会が均等になり、より多くの方に受講してもえらえるようになったためと思われる。</li> <li>○ 利用料収入は、828,050円で、前年度より 114,700円増加した。これは、施設利用回数が323回から397回に増加し、そのうちの使用料無料の回数は188回から167回に減少したことによると思われる。</li> </ul>			

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	30		18			
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況 ①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。 ②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。 ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	15	3	9			
<b>【評価の理由】</b> 〈大分農業文化公園〉 ○ 入園者の多い土日祝日や、GW・夏休みなどの繁忙期に人員を多く配置するなど、業務量に応じた体制としている。 ○ 各種イベントや事業実施に関する研修を必要な都度行っている。23年度については、内部・外部研修を含め、合計で12回実施している。 ○ 地域や関係団体等との連携や協働について、以下の取組を行っている。 ・杵築市教育委員会と連携し、大分県あるこう会を開催し約1,000名の参加者が公園内をウォーキングした。 ・大分市視覚障害者協会と連携し、視覚障害者のウォーキング大会を企画し、約50人が参加した。 ・地元小学校卒業生による記念植樹を行い地域の児童との交流を図っている。  〈大分県都市農村交流研修館〉 ○ 各種講座の講師として、農村女性をはじめ、地元の人材を最大限に活用している。また、農業団体、NPO、県などと連携した研修会や農山漁村女性グループと連携したイベントの開催など、目的に沿った適正な運営が行われている。						
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。 ②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。 ③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥防犯、防災対策等の危機管理体制が適切であったか。 ⑦事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				15	3	9
<b>【評価の理由】</b> 〈大分農業文化公園及び大分県都市農村交流研修館〉 ○ 個人情報の取扱いについて、公社策定の「個人情報保護規程」の徹底を図っている。入園者向けには「個人情報のお取扱いについて」と題した情報セキュリティポリシーを4箇所に掲示しており、その遵守に努めることとしている。なお、これまで漏洩等の事故は発生していない。 ○ 施設の利用受付に当たっては、施設設置条例及び関連規定等を遵守し、利用目的を確認し、公平・平等な取り扱いを行った。 ○ 安全管理については、施設管理や防火管理、事故対応マニュアル等を整備、またインフルエンザや食中毒、口蹄疫等、特別の事象についても個別のマニュアルを整備している。 ○ エントランスにAED(自動体外式細動器)を設置している。 ○ 個人名を記入するアンケートは集計後にシュレッダーにかけるなど個人情報の管理は徹底されている。						

**【選定委員の意見】**

--

## 【総合評価】

合計得点(100点満点)	64	評価ランク(A~E)	C
【評価の理由】			
<p>〈大分農業文化公園〉</p> <p>○ 施設の管理運営については、法令や規則、マニュアル等に基づき適正に行われていると評価できる。入園者数は、22年度を下回ったが自主事業等の実施に力を入れており、アンケート結果では8割以上の入園者が満足しており、リピーターを獲得してきているものと考えられる。天候不順のため、入園者数が見込めなかった月以外では、入園者数が増加しておりイベント等の集客効果が出てきていると思われる。また、アンケートの結果から、リピーターが増えてきている(2回以上利用22年度76%、23年度79%)ことからイベント等の効果がでているものとして評価できる。</p> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○ 事業については、その設置目的にそって、より農業文化公園らしさを追求した講座の内容と地域人材の活用を進めてきた結果、講座によっては、他県からの受講生もあるなど、一定の成果を上げている。また、農山漁村女性のキャリアアップに向けた研修やイベントに積極的に取り組み、女性の能力開発と経営意欲の向上に貢献している。</p>			
【今後の対応】			
<p>〈大分農業文化公園〉</p> <p>○ リピーターをより定着させるため公園のコンセプトに沿った事業を積極的に実施し、目標指標33万人達成を図りたい。</p> <p>○ さらに、営業・広報活動等にも一層力を入れ、公園ならではの新商品の開発や、新イベントの実施等により、入園者数の増加を図ることで、安定経営による適切な管理・運営を目指していくことが望まれる。</p> <p>○ 大分県のコンビニエンスストアとの協同取り組み等を利用し、公園の更なるPR等につとめていきたい。</p> <p>○ 24年度からは、新築のコテージが供用開始し、オートキャンプ場の日帰り利用が可能となることから、広報活動等に力を入れ、施設の利用促進を図っていきたい。</p> <p>〈大分県都市農村交流研修館〉</p> <p>○ 事業については、引き続き、農業をベースに独自性と質の高さを追求した展開を期待する。また、そうした事業が、より広く、一般県民に伝わるよう、広報についても効果的に継続することが望まれる。</p>			

## 【指定管理者評価部会の意見】

<p>○ 経費低減に努力し、指定管理業務では黒字となっていること、また、利用者拡大に向け多彩なイベントを実施していることは評価できる。</p> <p>○ 利用者からの意見への対応で、予算的に難しいものについては、職員対応や案内周知の充実等工夫をしてほしい。</p> <p>○ 日陰を作るために設置したパラソルやベンチ等について、現地で見ると入園者が自由利用してよい旨が分かりづらいという例もあるので、表示等を分かりやすく行う必要がある。</p> <p>○ 農業文化公園のアンケートの回収数が272件と、利用者数274,550人の割に少ないので、調査方法を検討する必要がある。</p> <p>○ 年間12ヶ月を通じた集客活動が必要である。園長がマスコミを対象に年数回トップセールスを行っているのは評価できるが、マスコミ以外にも赴くべきではないか。また、福岡県等県外に出向くことも必要ではないか。</p>
--